

# 各地のたより



## 神奈川県 神奈川学園中

### フィールドワーク

〈ふれあいセンター〉

三月七日、神奈川県横浜市  
神奈川学園中学校・



高等学校から、昨年秋の高校生に続き中学三年生三九名が「四十川フィールドワーク」で訪れ、当ふれあいセンターは、初日の午後、連携する「四十

楽舎」で木工教室を行いました。今回は、スケジュールの都合で森林散策ができないことから、最初にニホンジカによる森林被害の実態、滑り、森林にも興味を持つ

床山国有林における植生回復の取組み、森林の多様な働き、間伐の重要性などについてスライドを使って説明し、理解を深めてもらいました。また、「この木の名前だけは」と準備したヒノキとスギの枝は、学校に持ち帰って、触れて、臭いを嗅いで憶えてもらうことになりました。

この協定は、三好市東祖谷菅生（五郎谷）地域に所在する国有林一三二・五五haと、隣接する徳島水源林整備事務所契約地九六・七〇haをもって共同施業団地を設定し、今後、両者が連携して低コストで効率的な作業道等の整備や森林整備を行うものです。

### ノコギリって難しい

木工教室を行いました。今回は、スケジュールの都合で森林散策ができないことから、最初にニホンジカによる森林被害の実態、滑り、森林にも興味を持つ

### 四件目となる 森林整備協定を締結

〈徳島森林管理署〉

三月一四日、当署と森林農地整備センター徳島水源林整備事務所は、「三好市東祖谷菅生（五郎谷）地域の森林整備推進に関する協定」を締結しまし

徳島水源林整備事務所では、国有林と接する契約地で作業道を作設して間伐を行っていますが、今後は隣接する国有林と契約地で共同して作業道等路網の整備や森林整備を進めることが効率的であることから、両者で現地検討や協議を積み重ね、協定締結に至ったものです。

理局計画課川田流域管理指導官の立ち会いの下、徳島森林管理署で行われ、三谷署長と川村所長が協定書に記名・押印し、協定書を取り交わしました。

施計画に沿って路網の整備や間伐、素材生産などを行うこととなり、両者の円滑な連絡調整や情報共有等を行いますが、当該共同施業団地の森林整備を促進し、公益性の高度発揮や木材の安定供給などに貢献していきたいと考えています。



川村所長(左側)、川田流域管理指導官(中央) 三谷署長(右側)

業団地の設定を推進することとされておられ、当署では四件目の共同施業団地の設定となりました。

この協定に基づく実務は、三月二十八日、祖谷のかざら橋・架け替え資材確保実行委員会(平栗春正会長)と当署との間で、木の文化を支える森(祖谷のかざら橋・架け替え資材確保の森)に関する協定を締結しました。

木の文化を支える森 (祖谷のかざら橋・架け替え資材確保の森) 協定を締結 (徳島森林管理署)



平栗会長(左側)と三谷署長(右側)

国指定の重要有形民俗文化財のかざら橋は、祖谷の観光スポットとして年間三〇万人の観光客が訪れています。かざら橋の構造材は自然素材であるため、約三年ごとに架け替えを行っていますが、主な材料のシラクチカズラ(サルナシ)は、標高の高い天然林に自生しているため、これを採取することが年々難しくなっています。

さて、挿し木苗の育成や国有林への植え込み、保護などの活動を行ってきましたが、協定期間が終了するため、協定の相手方や名称、内容を見直し、今回協定を締結する運びになったものです。協定式は当署で行われ、三好市教育委員会や当署の担当者が立ち会い、平栗会長と三谷署長が記名・押印した後、協定書を取り交わしました。

このため、平成二〇年三月に当署と三好市長の間で、「祖谷のかざら橋・架け替え資材確保の森」づくり活動に関する協定を締結して、シラクチカズラの供給と併せて、挿し木苗の育苗、保育及び安定的供給について、こ



奥祖谷二重かずら橋【男橋】(橋掛け替え後)



れまで蓄積してきた知見や国有林のフィールドを活かして、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

## 木頭森林事務所、

## 移転・新築される

〈徳島森林管理署〉

三月二六日、徳島県那賀町和食郷に新築された木頭森林事務所で落成式が行われました。

当署では、六つの森林事務所で県下の国有林を管理・経営しておりますが、中でも木頭森林事務所は有名な木頭林業の中心地である旧木頭村和無田に置かれ、四千ヘクタールを超える国有林・官行造林を管轄してきました。同森林事務所の旧庁舎は昭和四六年の建築で四〇年が経過し、建物の老朽化が進んでおり、建て替えが課題となっていました。

建て替えに当たっては、那賀町の中心地、和食郷に所在する町有地の一角をお借りすることができ、今回の移転・新築を迎えることができたものです。

落成式は、来賓として那賀町長、南部県民局長、地元関係者をお迎え、祈願しました。

し、森林管理局の計画部長と経理課課長補佐が立ち会う中、隣接する蛭子神社の神官が司る神事で始まり、関係者が神棚に玉串を捧げて森林事務所の完成を感謝し、併せて関係者の弥栄と無災害を祈願しました。

### 落成式の様子



続けて、計画部長から祝辞、署長が挨拶を述べ、総務課長から森林事務所の建築の概要、森林官から森林事務所の業務の概要を説明しました。新しい森林事務所は、県産材を多用し、た快適で明るい事務所となっております。

森林事務所は、従前同様、国有林の地元に向けた窓口としての機能を發揮することはもとより、今後は、森林・林業再生プランが求める地域林業に寄与する拠点として大きな働きをすることになります。当署としても木頭森林事務所の移転・新築を契機に、森林官と連携しながら、国有林が果たすべき役割を十全に果たすように努める考えです。

